

議会報告会における意見等に対する対応について

令和7年 6月 3日

三田市議会議長 様

下記のとおり処理方針を決定し、検討を行いました。

経営政策常任委員会委員長 小杉 崇浩

NO		市民からの意見等	市長等へ提案・要望する	委員会で検討する	委員会等への参考意見とする
1	Q	ふるさと納税をもっと活用・PRすべきではないか。			○
	A	市の説明では話題性のある返礼品のPR効果などにより一時的な増加があったとのことだが、議会としては継続的に魅力ある返礼品の確保とPR強化を求めている。			
2	Q	障害のある人にも、必要な情報がきちんと届くような、わかりやすい情報発信を市に要望してほしい。			○
	A	視覚や聴覚に障害のある方にも必要な情報が届くよう、より一層わかりやすく配慮ある広報のあり方を市に求めていく。			
3	Q	三田市の魅力をもっとPRすべきではないか。			○
	A	議会としても同感であり、交通アクセスや豊かな自然などの強みを生かし、移住・定住促進に繋げるため、戦略的な魅力発信を引き続き市に要望していく。			
4	Q	5年、10年後の三田市のあるべき姿を見出し、毎年市の課題を整理しながら検証すべきでは？			○
	A	第5次三田市総合計画に基づき、10年間の計画の課題整理をしながら、年度ごとに事業内容の見直しも行っている。選ばれるまち三田市を目指し議会としても引き続き努める。			

NO	市民からの意見等		市長等へ提案・要望する	委員会で検討する	委員会等への参考意見とする
5	意見	市のガバナンスが崩れつつあり、職員が上司の顔色をうかがいながら働いている。頑張っている職員ほど辞めてしまう。			○
6	Q	ふるさと納税については年末に寄附額が増加するのは当然と考える。来年度以降、財政的に更に厳しくなると思うが、その対策をどのように考えているか。			○
	A	公共施設運営の見直しが不可欠であり、それに伴い、財源も整備していく。公共サービスはこれまでと同様とはいかないため、住民同士の支えあいや市民の自主的な活動が重要となり、その支援のあり方を考える必要がある。			
7	Q	新統合病院について、地権者との話し合いはどの程度進んでいるのか。			○
	A	土地の確保費用については神戸市が担うことになっており、調査とともに地権者との調整を進めている。市は神戸市とは綿密に連携しながら進めている。			
8	Q	予算の新規拡充事業の内、市民病院関連事業はどのようなものがあるか。			○
	A	整備候補地基礎調査事業(用地測量等)約7,500万円、基本設計・実施設計策定事業約3億2,400万円、整備支援事業コンストラクションマネジメント約2,800万円、開院支援事業、医療機器整備等約5,000万円である。			
9	Q	基金残高がどの程度になると三田市としては危険な状態といえるのか。			○
	A	基金の金額だけで市の財政状況を判断できないため、非常に難しい質問である。標準財政規模の1割が財政調整基金の目安と言われている。			

NO	市民からの意見等		市長等へ提案・要望する	委員会で検討する	委員会等への参考意見とする
10	Q	新病院の建設にかかる費用は約521億円に膨らんでおり、今後10年で約93億円の収支不足が見込まれている。このままでは、市民サービスが削られ、市民の負担が増えるのではないかと。新病院建設を中止し、現市民病院を充実させる方向にできないか。			○
	A	そのような意見は他からも聞いている。議会としては、市民の命を守ることを最善に考えている。現市民病院の19診療科では十分ではないと考える。			
11	Q	新病院は35診療科になると聞いている。多数の医師が必要だが、確保はできるのか。また、新病院建設の財源確保のために住民税や健康保険等の負担が増えると、立派な病院ができたとしても受診できなくなる。再編統合ありきではなく、市民ありきで考えてほしい。長期的に経営が継続できるのか不安である。			○
	A	懸念は理解できる。そうした懸念を解決できる方法を模索しながら進めているところである。働き方改革等で、24時間救急を現在の医師数で維持するのは不可能になってきている。また、現在の市民病院は周産期医療と小児科の体制的に不十分である。済生会兵庫県病院と統合することで、この点を強化できる。			
12	【アンケート自由意見】 今回の議員の方との報告会は今後も続けていくべきだと思う。議員の敷居が高く、本来の市民主体の行政運営になっていない。特に三田市の市民説明会は隣の自治会の運営に比べて人数制限、事前予約など運営手法に問題がある。地方自治法の趣旨は「住民自治と団体自治」。行政運営はもっと市民参加を積極的に取り組んでほしい。				○
13	【アンケート自由意見】 予算は難しい。まだ大金が流出していないせいで議員も安心しているが、病院に大金がいる時代になると赤字財政まっしぐらです。税は大切に使って下さい！トランプショックの時代に大きな借金は反対！				○
14	【アンケート自由意見】 「市民派」と呼ばれる人の声の大きいなあと思った。新(市民)病院で「命」のバックアップが更によくなることを期待しています。				○

↑ いずれかに○を記入

議会報告会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等 NO.2

経営政策常任委員会

市民からの意見	障害のある人にも、必要な情報がきちんと届くような、わかりやすい情報発信を市に要望してほしい。
調査研究した内容 (現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会での検討内容等)	経営政策常任委員会で諮った結果、参考意見として活用させていただくという事に決定した。 <市当局確認> 確認日：5月28日(水) 当局説明員：総合政策部高木次長、広報広聴課川崎課長
検討結果 1 市長等へ 提案・要望 2 議会報で 報告 3 委員会で 継続調査 ④ 参考意見 とする 5 その他	参考意見とする。

※該当番号に○印を記入し、1の場合は提案または要望理由及び内容、2の場合は議会報への記載内容を記載願います。

議会報告会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等 NO.12

経営政策常任委員会

市民からの意見	今回の議員の方との報告会は今後も続けていくべきだと思う。議員の敷居が高く、本来の市民主体の行政運営になっていない。特に三田市の市民説明会は隣の自治会の運営に比べて人数制限、事前予約など運営手法に問題がある。地方自治法の趣旨は「住民自治と団体自治」。行政運営はもっと市民参加を積極的に取り組んでほしい。
調査研究した内容 (現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会での検討内容等)	経営政策常任委員会で諮った結果、参考意見として活用させていただくという事に決定した。
検討結果 1 市長等へ 提案・要望 2 議会報で 報告 3 委員会で 継続調査 ④ 参考意見 とする 5 その他	参考意見とする。

※該当番号に○印を記入し、1の場合は提案または要望理由及び内容、2の場合は議会報への記載内容を記載願います。

議会報告会における意見等に対する対応について

令和7年5月28日

三田市議会議長 様

下記のとおり処理方針を決定し、検討を行いました。

福祉教育常任委員会委員長 大西 雅子

NO		市民からの意見等	市長等へ提案・要望する	委員会で検討する	委員会等への参考意見とする
1	Q	中学校給食費はすべて市が負担するのか。無料だけを前面に打ち出すのではなく、制度内容について市民への更なる周知が必要ではないか。			○
	A	基金の活用や市税による補填など財源面の課題、また栄養バランスへの懸念から、議会として附帯決議を提出し、制度の持続可能性と市民への丁寧な情報発信を市に求めた。今後の運用や周知についても注視していく。			
2	Q	高齢化が進む中、介護サービスの継続は大丈夫なのか。			○
	A	介護報酬の改善やスキルアップ支援、介護の魅力発信を通じ、人材確保に繋がるよう議会としても国への要望や健康寿命延伸の取組みなど、現場の声を聞きながら誰もが安心して介護を受けられる地域づくりについての市の取組みに注視していく。			
3	Q	ケアマネージャーの負担増や人材不足が深刻。介護職が希望を持てるような対策をしてほしい。			○
	A	議会としても人材確保や介護予防の推進が重要と考え、市に働きかけている。現場の声をしっかり受け止め、介護職の方にとって希望となるような施策の実現を引き続き求めていく。			
4	Q	学校で子どもたちが笑顔で過ごせる環境づくりを進めたい。市としてはどのような教育の取り組みをしているか。			○
	A	市は教育振興基本計画に基づいて取り組んでおり、「三田で育った子どもたちが、また三田で子育てをしたいと思えるまちづくり・教育を」という前教育長の思いもあった。また不登校支援のAI相談事業など新たな取組みに令和7年度予算が計上されている。今後も議会として現場の声を反映した教育施策の充実を求めていく。			

NO	市民からの意見等		市長等へ提案・要望する	委員会で検討する	委員会等への参考意見とする
5	Q	子ども食堂の目的が不明瞭となっていないか。本来子ども食堂が必要なくても良い社会が理想ではないか。支援の在り方を見直すべきでは。	○		
	A	現在は高齢者や地域との交流の場としても活用されるなど、子ども食堂の役割は多様化している。一方で、支援の方法や補助金の活用について地域ごとに受け止め方に違いがあり、今後の運用について整理が必要と認識している。議会としても引き続き議論していく。			
6	Q	中学校給食の無料化は4月からだが、子育て支援医療費の無料化は10月からであるので、来年度はその倍の予算が必要になるのか。			○
	A	単純に、今年度の増加分の倍の予算となる。			

↑いずれかに○を記入

議会報告会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等 NO. 5

福祉教育常任委員会

市民からの意見	子ども食堂の目的が不明瞭となっていないか。本来子ども食堂が必要なくても良い社会が理想ではないか。支援の在り方を見直すべきでは。
調査研究した内容 (現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)	<p>(現状の子ども食堂について)</p> <p>過去、子ども食堂については、市民の発言のとおり、子どもの孤食防止や家庭の孤立を防止するために、当初は市の支援金もなく、社会福祉協会を通じた企業・個人からの寄附、地域の支援で運営されていた経過がある。</p> <p>近年、NPO法人や学生ボランティア団体、各小学校区のまちづくり協議会等が、市街地やそれぞれの小学校区で子供食堂、地域食堂として上記の主旨に基づき運営している。</p> <p>福祉教育常任委員会の各委員も市民の意見を受け、地域の子ども食堂運営団体を調査したが、地域から聞こえてきたのは、令和7年度の新規事業で子ども食堂に5万円が支援されることが地域に広がり、これまで地域で無料としていた貸館料金や、ボランティアへの支援金がもらえなくなったことで、逆に子ども食堂の運営が厳しくなってきたり、地域に混乱を招いている状況が浮かんできた。</p> <p>(当局聞き取り調査)</p> <p>令和7年5月27日の福祉教育常任委員会で市当局より現在の子ども食堂の状況や令和7年度事業である「子ども・地域食堂支援事業」について聞き取り調査を実施した。</p> <p>*現在の子ども食堂や地域食堂については、子どもを含めて保護者や高齢者を対象として月に1回から2回のペースで開催されている。このことに関しては、子どもの孤食等を防止する観点からも本来の姿であると認識している。また、運営に関しては、地域主導のもとで実施されているものと理解している。</p> <p>*令和7年度の新規事業である「子ども・地域食堂支援事業」では、それぞれの子ども食堂に対して一律5万円を支援しており、その用途は自由となっている。</p> <p>*自治会やまちづくり協議会等についての市役所の支援窓口が異なることから、地域で縦割り意識が生じている実態と地域からの支援金が減額されたりしている実態までは、各担当課に聞き取れていない状況である。</p>

<p>検討結果</p> <p>① 市長等へ 提案・要望</p> <p>2 議会報で 報告</p> <p>3 委員会で 継続調査</p> <p>4 参考意見 とする</p> <p>5 その他</p>	<p>子ども政策の新規事業の「子ども・地域食堂支援事業」は、それぞれの子ども食堂や地域食堂に5万円の支援をするものであるが、この支援がきっかけとなり、これまで地域で支援していたお金が減額され、無料で貸し出していた部屋料が有料になっており、逆に子ども食堂の運営に負担が生じている。</p> <p>市は、本事業の執行にあたり、子どもや家庭を支える環境づくりに支障が出ないように、地域での話し合いを含め、制度設計の見直しを図ってほしい。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※該当番号に○印を記入し、1の場合は提案または要望理由及び内容、2の場合は議会報への記載内容を記載願います。

議会報告会における意見等に対する対応について

令和7年 6月 5日

三田市議会議長 様

下記のとおり処理方針を決定し、検討を行いました。

生活地域常任委員会委員長 幸田 安司

NO		市民からの意見等	市長等へ提案・要望する	委員会で検討する	委員会等への参考意見とする
1	Q	本庄、上青野地区にバスの本数、停留所が少なく、通院等日常の移動に非常に困っている。対応について検討してほしい。			
	A	市も赤字路線への補助もしているが、運転手不足、収支不足などの理由により、バス事業者が減便や廃線を判断している。上青野地区は令和7年度、本庄地区は同8年度にバス路線が廃止になるが、代替交通として市と地域共創で乗合タクシーの実証実験を予定している。今後も地域住民と意見交換しながら地域交通の検討、推進を市に求めていく。		○	
2	Q	バス路線運行対策事業費予算が減額となっているが、減額分を地域の交通政策への充当など検討しているのか。			
	A	議会としても地域交通に関する問題意識はある。神姫バスなどの公共交通だけに依存するのではなく地域と共に代替交通の検討を市に要望していく。		○	
3	Q	小規模農家営農継続支援事業に関して、小規模農家への支援だけではなく、農地を集約化する考えはないか。			
	A	議会としても、農業に関して問題意識を有している。県内でも播磨地域など集約化を実施している地域もあり、大型機械の使用による効率化などメリットはあると認識しているが、進めるには地域地権者の合意形成が必要となる。市でも集約化を検討している地域がある。今後、国の農地の整理事業などと連携して進めていくよう市に求める。		○	
4	Q	三田市に引っ越しをして7ヶ月になる。緑が多くて素敵だと思うが、家の周りの木が伐採されている。伐採は様々な理由があると思うが、伐採した後を放置せず、新たに植樹をするなど検討してほしい。			
	A	市は無計画に伐採している訳ではなく、伐採している箇所は、老木による倒木や、成長しすぎて見通しが悪くなる危険など様々な理由がある。該当箇所について、伐採理由を市に確認していく。		○	

NO	市民からの意見等		市長等へ提案・要望する	委員会で検討する	委員会等への参考意見とする
5	Q	ウッディタウンの平谷川沿いに大きな柳の木があり、根が川底の石の隙間に入り込んでいる。今後処理が大変になる可能性もあり、調査が必要と考えるが。		○	
	A	早急に所管の阪神北県民局に現在の状況調査を市から依頼するよう求める。			
6	Q	フラワータウン再生は大丈夫なのか。三田市はイオングループが多く、競争原理がない。市の対応はどうか。			○
	A	イオンリテール株式会社との協議はまだ始まったばかりであり、市民センターの機能面を含めた市民からの意見集約が必要。現時点で市長からは具体的な計画が示されておらず、詳細な議論も難しい。議会としても引き続き注視し、市に主体的かつ実効性ある対応を求めていく。			
7	Q	埼玉県八潮市で大きな下水道管起因の道路陥没事故があったが、三田市は大丈夫か。今後の修繕はどうなっているか。			○
	A	三田市には八潮市のような大きな下水道管はなく、最大直径2mと聞いているので、安心してほしい。ニュータウン開発で同時期に建設されたものが多数あるため、下水道管も同時期に更新する必要がある。心配しなくてよいとまでは言えないが、長期的な計画を立てながら、進めているところである。			
8	Q	自治会加入者が年々減少していることに危機感を持っている。加入率の減少を止める手段について、市としての対策は。議会としても自治会の意味を市民が理解するような役割を果たしてほしい。			○
	A	市は、1自治会に4万円、自治会に加入していない世帯も含め世帯数につき400円の補助を年間支出している。議会としても、常に市に自治会加入者を増やすよう議論も要望もしている。自治会単位ではなく、市としての議論が必要だと認識している。			
9	Q	ニュータウンの衰退が急速に進んでいる。議員はどのように考えているか。			○
	A	ニュータウンだけでなく、農村部も少子高齢化が進み、衰退しつつあるため、市全体で考えていく必要がある。若い人の就農などによる移住等の例もあるが、市の支援は十分ではなく、しっかり取り組む必要がある。			

↑いずれかに○を記入

議会報告会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等 NO. 1. 2

生活地域常任委員会

市民からの意見	<p>1. 本庄、上青野地区にバスの本数、停留所が少なく、通院等日常の移動に常に困っている。対応について検討してほしい。</p> <p>2. バス路線運行対策事業費予算が減額となっているが、減額分を地域の交通政策への充当など検討しているか。</p>
調査研究した内容 (現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)	<p>(現状の地域交通について)</p> <p>1. 三田市の本庄・上青野地区では、現在運行中のバス路線の一部について、運行休止が検討されている。この地域では、バスの本数や停留所が少なく、日常生活に支障をきたしている市民の声が上がっている。 特に、高齢者や交通手段のない方々にとって、バスは重要な移動手段であり、地域の生活に欠かせないインフラである。</p> <p>2. バス路線運行対策事業費については、昨年度に比べて減額となっている。</p> <p>(市当局確認内容について)</p> <p>1. 三田市では、本庄、上青野地区で運行するバス路線では運転手不足などの要因から両路線とも中止の判断を行った。市においては、スクールバスの導入を進めるとともに地域の皆様と共存によりこれまでも自家用旅客有償運送を実施してきた。今後は、さらなる持続可能な地域公共交通の維持・改善に向けて、今年度から乗合タクシーの導入に向けた実証実験を実施し、代替交通の検討を進めている。</p> <p>2. バス路線運行対策事業費減額に関しては、これまで補助を行っていた路線が一部廃止になった理由による。一方で、地域の代替交通の確保に向けて必要となる予算については別に設けているのでご理解いただきたい。</p>

<p>検討結果</p> <p>1 市長等へ 提案・要望</p> <p>2 議会報で 報告</p> <p>③ 委員会で 継続調査</p> <p>4 参考意見 とする</p> <p>5 その他</p>	<p>委員会で継続して調査を行う。</p> <p>今後も、市民の声をしっかり受け止めながら、地域に合った交通のあり方を継続的に調査する。未来を見据えた地域交通の実現を目指す。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------

※該当番号に○印を記入し、1の場合は提案または要望理由及び内容、2の場合は議会報への記載内容を記載願います。

議会報告会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等 NO. 3

生活地域常任委員会

市民からの意見	小規模農家営農継続支援事業に関して、小規模農家への支援だけでなく、農地を集約化する考えはないのか。
調査研究した内容 (現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)	<p>(現状)</p> <p>市内農業者と地域計画を策定した。課題として担い手不足が明確化した。農地を集約化に関しては、担い手不足や収益率の視点から、大切な取り組みであると認識している。</p> <p>市は、地域農業持続できる営農体制を維持構築するため国や県と連携して、集落営農組織や認定農業者等の大規模農業家に対し、機器の導入や人材育成をしてきた。</p> <p>今後も農地耕作者や所有者等関係する地域の皆様と連携して、農地の集積や集約に努め、多様な担い手育成にも取り組み、地域計画の実現を目指す。</p> <p>(常任委員会で行った調査・研究・検討内容、委員からの意見等)</p> <p>令和7年5月28日の生活地域常任委員会で市当局より現在の農業の状況や課題の認識と対策方法について聞き取り調査を実施した。</p> <p>・現在、農業分野においては、国および県が中心となり、圃場整備やパイプライン化などの基盤整備事業を積極的に進めている。これらの事業は、農業生産の効率化や持続可能な農業の推進を目的としたものであり、地域農業の振興において重要な役割を果たしている。</p> <p>市においても、地域計画の策定にあたっては、地域住民や農業者からの意見聴取を実施しており、その中で、農地を集約化・集積化に関する相談が寄せられている。こうした現場の声を踏まえ、市としても、効率的な農地利用を推進する方向で対応を進めている。</p> <p>また、国の施策としては、農地の集積率が高い地域を対象に、農業機械の導入に対する補助制度が設けられており、農業経営の安定化および機械化の促進が図られている。</p> <p>今後、市としては、農業者との連携を密に取り、現場の状況やニーズを的確に把握した上で、必要な補助や事業の活用が図れるよう、継続的な伴走支援を行っていく方針である。</p>

<p>検討結果</p> <p>1 市長等へ 提案・要望</p> <p>2 議会報で 報告</p> <p>③ 委員会で 継続調査</p> <p>4 参考意見 とする</p> <p>5 その他</p>	<p>委員会で継続して調査を行う。</p> <p>今後5年、10年先の農業を見据えると、従事者の高齢化や後継者不足が深刻化することが予想される。このような中で、農業を将来にわたり持続可能にしていくためには、農地の集約化・集積化を進め、効率的な農業経営体制を構築することが不可欠である。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※該当番号に○印を記入し、1の場合は提案または要望理由及び内容、2の場合は議会報への記載内容を記載願います。

議会報告会における意見等検討結果報告書

市民からの意見等 NO. 4、5

生活地域常任委員会

<p>市民からの意見</p>	<p>4. 三田市は、緑が多くて素敵だと思うが、周りの木が伐採されている。伐採後放置せず、新たに植樹するなど検討して欲しい。</p> <p>5. ウッディタウンの平谷川沿いに大きな柳の木があり、根が川底の石の隙間に入り込んでいる、今後の維持管理をするうえで、調査や対策が必要と考える。</p>
<p>調査研究した内容</p> <p>(現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)</p>	<p>(現状)</p> <p>4. 街路樹の適正な管理を行うために倒木の恐れがある樹木、また根上がり等通行の支障をきたす樹木を確認し伐採している。また、伐採後の処置につき、周辺の見通し、道路の視距や道路標識、信号等の障害となる樹木や枝等、緑量を勘案して適切に対応を行っている。</p> <p>令和4年11月に街路樹の適正な管理に向けた基本方針を策定し、これに基づいてグリーンマネジメントさんだ2.0行動計画を作成。令和5年度から植栽街路樹等適正管理に計画的に取り組んでいる。</p> <p>5. ウッディタウン平谷川の環境整備については、市が管理している緑地内と県が管理している緑地内を流れている平谷川との管理の受委託契約を締結し、河川区域内、緑地内の除草や剪定作業等の適正な管理に努めている。県との調整は現状を確認して対応をしていく。</p> <p>(常任委員会で行った調査・研究・検討内容、委員からの意見等)</p> <p>令和7年5月28日の生活地域常任委員会で市当局より現在の植栽維持管理の状況や課題の認識と対策方法について聞き取り調査を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民からの通報や要望に迅速に対応できる体制の強化 ・ 街路樹の伐採・剪定の計画を事前に地域住民に周知する仕組みの整備 ・ 伐採後の緑地の再整備や植替えについての長期的なビジョンの明確化 ・ 市と県の役割分担や管理区域の明確化 ・ 定期的な合同点検の実施による現状の共有と改善方策の検討 ・ 河川区域を含めた緑地全体の整備計画の策定と地域住民との情報共有

<p>検討結果</p> <p>1 市長等へ 提案・要望</p> <p>2 議会報で 報告</p> <p>③ 委員会で 継続調査</p> <p>4 参考意見 とする</p> <p>5 その他</p>	<p>委員会で継続して調査を行う。</p> <p>今後も住環境と景観を維持する必要性から、問題が発生することが考えられる。特に樹木の太木化や枯れ木等が発生していくため、委員会で継続的に検討していく。</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------

※該当番号に○印を記入し、1の場合は提案または要望理由及び内容、2の場合は議会報への記載内容を記載願います。

議会報告会における意見等に対する対応について

令和7年 6月 5日

三田市議会議長 様

下記のとおり処理方針を決定し、検討を行いました。

議会改革推進会議委員長 中田 哲

NO	市民からの意見等	市長等へ提案・要望する	委員会で検討する	委員会等への参考意見とする
1	【アンケート自由意見】 意見交換の時間配分を多くしてください。		○	
2	【アンケート自由意見】 資料はカラーのほうが見やすいものはカラー印刷していただきたい。質問に対しフィードバックしますとの返答ありがとうございました。若い世代の方にももっと参加してもらえたらいいのと思いました。		○	
3	【アンケート自由意見】 貴重なお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。			○
4	【アンケート自由意見】 常任委員会の報告書、概要ではありますがもう少し詳しく知りたいと思います。議員さんと話す機会を報告会以外にも作ってみたいですね。			○
5	【アンケート自由意見】 会の時間はもう少し長くして2時間くらい欲しいですね。病院は統合せず、竹内市長の時に提案された必要なところは建て増して充実させる方が市民の命を守ることにつながるでしょう。歩道も高齢者が歩いたら危険なところが多く、命にかかわるかも。			○
6	【アンケート自由意見】 一部市民の方の意見が(意見というより)クレームに聞こえた。			○
7	【アンケート自由意見】 楽しく過ごせました。知識が増えました。知る事も大事ですね。			○

↑いずれかに○を記入

議会報告会における意見等検討結果報告書

市民からの自由意見等 NO.1.2

議会改革推進会議

市民からの意見	<ol style="list-style-type: none"> 1. 意見交換の時間配分を多くしてください。 2. 資料はカラーのほうが見やすいものはカラー印刷にしてください。質問に対しフィードバックしますとの返答ありがとうございました。若い世代にもっと参加してもらえたらいいのにと思いました。
調査研究した内容 (現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)	(現状の議会改革について) 継続的な課題検証は必要。適切な修正と改善がなされるよう勧めていく。
検討結果 1 市長等へ 提案・要望 2 議会報で 報告 ③ 委員会で 継続調査 4 参考意見 とする 5 その他	委員会で検討する <ol style="list-style-type: none"> 1. 今後の議会運営において重要な視点であり、改革の一環として検討する。 2. 「若い世代にももっと参加してほしい」というご意見についても、議会としても強く共感しており、開かれた議会づくりに向けた取り組みを進める。

※該当番号に○印を記入し、1の場合は提案または要望理由及び内容、2の場合は議会報への記載内容を記載願います。

議会報告会における意見等検討結果報告書

市民からの自由意見等 NO. 3~7

議会改革推進会議

市民からの意見	<p>3. 貴重なお話を聞かせていただきました。ありがとうございました。</p> <p>4. 常任委員会の報告書、概要ではありますがもう少し詳しく知りたいと思います。議員さんと話す機会を報告会以外にも作ってみたいですね。</p> <p>5. 会の時間はもう少し長くして2時間くらいは欲しいですね。病院は統合せず、竹内市長の時に提案された必要なところは建て増やして充実させる方が市民の命を守ることにつながるでしょう。歩道も高齢者が歩いたら危険なところが多く、命にかかわるかも。</p> <p>6. 一部市民の方の意見が(意見というより)クレームに聞こえた。</p> <p>7. 楽しく過ごせました。知識が増えました。知る事も大事ですね。</p>
調査研究した内容 (現状、市当局確認内容、他市の状況、常任委員会等での検討内容等)	<p>(現状の議会改革について) 継続的な課題検証は必要。適切な修正と改善がなされるよう勧めていく。</p>

<p>検討結果</p> <p>1 市長等へ 提案・要望</p> <p>2 議会報で 報告</p> <p>3 委員会で 継続調査</p> <p>④ 参考意見 とする</p> <p>5 その他</p>	<p>参考意見とする</p> <p>今後の議会運営において重要な意見であり、改革の一環として検討する。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------

※該当番号に○印を記入し、1の場合は提案または要望理由及び内容、2の場合は議会報への記載内容を記載願います。